

「アロハフェスティバル in 習志野」
 ハワイアンブリーズ
 草深 千沙子

新型コロナウイルスが蔓延してから一年以上がたち長きにわたり不自由な生活を強いられています。昨年は芸術・文化等の様々な祭典・イベントが中止に追い込まれる等の大打撃を受けました。私たちフラサークルも披露の場を多く失いモチベーションの低下は否めませんが気分転換の場、体を動かす場として必要なルール・マナーを順守しながら

参加は暫くぶりでございます。昨年よりコロナ禍の中、私達は思うように稽古ができずにおりましたが、春の芸術祭参加を目標に『必ず舞台に立てる』を希望に頑張ってきました。その思いが何とか叶う事ができま

希望を抱いて続けています。この情勢が何時どの様に変化するのか予測すべからざるに、私たちは新たな活動の方法や様式をその時々状況に合わせて創り上げていく必要があると考えております。

四季折々の草木や花を組み合わせて花器に生け、その美しさを観賞して楽しむ日本の伝統文化「生け花」。その魅力は伝統だけにはとどまらず、日常の中で草木花々を飾り、空間との調和を楽しむことにもあります。

おかげさまで創立六十二年目を迎えた華道協会。生け花の素晴らしさを会員一同、趣向を凝らした作品に込めて展示いたします。春・初夏の「花材の取り合わせ」と「流派それぞれの特徴や趣き」を楽しんでいただきたく、「ご来場をお待ちしております。」

「令和」の入り口から災害列

絵画展
 習美会
 中谷 時男

鳥と化し、今まだコロナ禍の中

最近の社会情勢と高齢化など考えると、参加者の減少は否めないところではありますが、創作発表の場を大切に、良い展示会にしたいと思っております。

あとりえ菊田は、水彩画と油絵を学ぶ会です。講師渡辺先生の教えは、丁寧かつ的確です。会員はやや若年の男女七名で楽しく絵を描き楽しく話をする事をモットーにしています。

指先を使い頭脳を動かして絵を描くことには良いと言われている。山影から黄金色に輝きながら昇る朝日や、真っ赤に燃えながら沈む夕日、又は、華麗に咲き誇る花、そして思い出の風景等々を私達と一緒に絵にしてみませんか。教室は、毎月第一と第三日曜日の午前中、菊田公民館会議室で行います。見学は大歓迎です。

今年の芸術祭の作品展示会は四月十六日(金)から十八日

陶芸展
 習陶会
 梶田 敏夫

家庭も産業も芸術祭も市展も総ての夢を破壊したコロナ。一日も早く終息する日をただただ祈るばかり。

昨年の正月、東京五輪もあり皆それぞれ希望に満ちた新年を迎えた筈でしたが、こんな世界を誰が想像出来たでしょう。

家庭も産業も芸術祭も市展も総ての夢を破壊したコロナ。一日も早く終息する日をただただ祈るばかり。

今年、オリンピック・パラリンピック開催年に因み、切手コレクションの中でも厳選して決定した「懐かしの東京オリピック1964」四八リーフを展示します。

恒例、「習志野郵趣会芸術祭切手展」を開催します。

切手展
 習志野郵趣会
 檜垣 廣政

和紙は、指先でちぎると、何とも言えない温かな風合いが生まれます。

和紙ちぎり絵作家
 和紙ちぎり絵展
 尾曾 律葉

和紙ちぎり絵作家
 尾曾 律葉

和紙ちぎり絵作家
 尾曾 律葉

習志野市芸術文化協会

第37回 芸術祭

2021年
 4月17日・18日

《習志野文化ホール》

17日(土) 11:00~11:20 春の祭典セレモニー
 11:30~16:00 舞踊会 日舞サークル連盟

18日(日) 12:00~16:00 アロハフェスティバル in 習志野
 入場料 300円

習志野文化ホール
 《ホワイエ》 10:00~16:00 華道展

4月16日・17日・18日

《モリシアホール(4階)》 10:00~17:00 (初日13:00から/最終日16:00まで)

絵画展 書道展 陶芸展 蒐集展(切手) 和紙ちぎり絵展

主催 習志野市芸術文化協会
 後援 習志野市教育委員会・(公財)習志野文化ホール
 協賛 モリシア津田沼
 問い合わせ 習志野市芸術文化協会 TEL/FAX 047-475-6821
 ホームページ / http://www.narashinoshi-geibunkyo